

令和5年度事業報告

公1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、20大会を開催し無事終了した。

大会名	会期	開催支部	参加 チーム数	備考
天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会 ENEOSトーナメント	9月15日(金) ～20日(水)	香川県	56	愛知県西・医療法人 和合病院
高松宮賜杯第67回 全日本軟式野球大会	1部 9月30日(土) ～10月2日(月)	岩手県	32	埼玉県・サントリーフーズ
	2部 9月9日(土) ～12日(火)	大阪府	32	山梨県・A Q U A
高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月5日(土) ～11日(金)	東京都	51	大阪府・新家スターズ
文部科学大臣杯 第14回全日本少年春季軟式野球大会	3月21日(火) ～28日(火)	静岡県	55	鹿児島県・日章学園鹿児島青英館中学校
第8回全日本中学女子軟式野球大会 (SPトーナメント)	8月17日(木) ～23日(水)	京都府	47	京都府・藤シヤインングヴァーナス
第40回記念全日本少年軟式野球大会 ENEOSトーナメント	8月13日(日) ～17日(木)	神奈川県	18	神奈川県・横浜クラブ
特別国民体育大会 (燃ゆる感動かごしま国体)	成年 男子 10月12日(木) ～16日(月)	鹿児島県	32	愛知県・医療法人 和合病院
第45回 東日本軟式野球大会	1部 6月4日(土) ～6日(火)	東京都	28	群馬県・カーバンク群馬クラブ
	2部 5月27日(土) ～29日(月)	神奈川県	28	青森県・青森 Z I E L
第45回 西日本軟式野球大会	1部 5月19日(金) ～22日(月)	佐賀県	26	高知県・中澤氏家薬業
	2部 6月3日(土) ～5日(月)	和歌山県	26	和歌山県・有限会社山下工業
水戸市長旗 第31回東日本軟式野球選手権大会	11月2日(木) ～6日(月)	茨城県	28	愛知県・フタバ産業株式会社
第27回 西日本軟式野球選手権大会	11月3日(金) ～6日(月)	山口県	27	長崎県・十八親和銀行
第68回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月10日(金) ～13日(月)	愛知県	13	愛知県西・医療法人 和合病院
第6回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)	5月27日(土) ～30日(火)	埼玉県	42	千葉県・千葉東葛クラブ
NPB ガールズトーナメント 2023	7月25日(火) ～31日(月)	石川県	46	栃木県・栃木スーパーガールズ
日本スポーツマスターズ 2023	9月15日(金) ～18日(月)	福井県	32	大分県・OITA SUNNY
第45回 全国中学校軟式野球大会	8月18日(金) ～22日(火)	高知県	25	静岡県・鶴ヶ川陽明学院軟式部
第45回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月3日(木) ～6日(日)	千葉県	16	熱中症対策に競技方法 を変更し交流戦を実施

国体総合成績(天皇杯得点)

1位	愛知県	64点	5位	東京都	32点
2位	岐阜県	56点	6位	福井県	24点
3位	静岡県	48点	7位	石川県	16点
4位	沖縄県	40点	8位	茨城県	8点

(2) 競技者登録システムは、2023年12月末までに45支部がシステム稼働済となっている。残る2支部については、2024年度上半期の導入を予定している。

(3) 寄付金関係

公益目的事業実施のために5企業1団体より寄付を受けた。

- ① ㈱ エスエスケイ
- ② (公財)日本高等学校野球連盟・毎日新聞社
- ③ (公財)日本高等学校野球連盟・朝日新聞社
- ④ 横浜 DeNA ベイスターズ
- ⑤ ヤング㈱

(4) 助成金関係

次の事業実施に際し、3団体より助成金の交付を受けた。

- ① 少年野球振興事業助成 (ミズノスポーツ振興財団)
- ② スポーツ普及奨励助成事業費 (スポーツ安全協会)
- ③ 選手強化事業交付金 (日本オリンピック委員会)

(5) 協賛金関係

次のとおり、3団体、6企業より協賛を受けた。

- ① 日本マクドナルド㈱より全日本学童大会の全国大会、支部大会の実施等に対し協賛を受けた。
- ② ENEOS㈱より天皇賜杯大会・全日本少年大会・全日本少年春季大会の全国大会に対し、協賛を受けた。
- ③ ㈱ドックラッセより、全日本シニア大会へ協賛を受けた。
- ④ 全国新聞社事業協議会より、全日本学童大会へ協賛を受けた。
- ⑤ 東京新聞より、全日本学童大会へ協賛を受けた。
- ⑥ 佐川印刷㈱より、全日本中学女子大会へ協賛を受けた。
- ⑦ (一社)日本野球機構より、NPBガールズトーナメントおよびNPB12球団ジュニアトーナメントへの協力に対し、協賛を受けた。
- ⑧ ミズノ㈱より全軟連に協賛を受けた。
- ⑨ 全国労働金庫協会より、ろうきん杯実施支部への協賛を受けた。

(6) 協賛金・助成金交付

次のとおり、協賛金・助成金を交付した。

- ① 47支部に対し、マクドナルド協賛金を交付。
- ② NPBガールズトーナメント2023出場46チームに対し、助成金を交付。
- ③ 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金としてENEOS協賛金を交付。
- ④ ろうきん杯を実施した1支部に対し、助成金を交付。
- ⑤ 中学女子大会出場47チームに対し、助成金を交付。
- ⑥ 9ブロック及び47支部に対し、少年野球振興助成金を交付。

(7) ドーピング検査の実施

天皇賜杯第 78 回大会にてドーピング検査（8 検体）を実施し、全て陰性であった。

(イ) 審判員等養成事業

下表(1)、(2)、(3)事業を下記の通り、実施した。

(1) 全国審判技術研修員講習会

対象地区	日 程	場 所	受講者	修了者
全 国	2月24日(金)～26日(日)	埼玉県・さいたま市	47名	12名

(2) 全国審判技術指導員研修会（ブロック別指導員）

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道・東北地区	3月4日(土)、5日(日)	北海道・札幌市	19名
関東地区	3月4日(土)、5日(日)	埼玉県・さいたま市	32名
北信越・東海地区	3月4日(土)、5日(日)	岐阜県・大垣市	33名
近畿・四国地区	3月4日(土)、5日(日)	兵庫県・加西市	28名
中国・九州地区	3月4日(土)、5日(日)	福岡県・久留米市	36名

(3) 審判ブロック講習会（ブロック別）

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道	5月12日(金)～3日間	北海道・帯広市	38名
東北	3月10日(金)～3日間	福島県・福島市	31名
関東	3月17日(金)～3日間	千葉県・富里市	46名
北信越	10月20日(金)～3日間	富山県・魚津市	39名
東海	11月18日(土)～3日間	愛知県・蒲郡市	24名
近畿	3月10日(金)～3日間	京都府・城陽市	34名
中国	3月17日(金)～3日間	岡山県・倉敷市	35名
四国	10月20日(金)～3日間	香川県・高松市	21名
九州	3月17日(金)～3日間	宮崎県・宮崎市	31名

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

(1) 競技者必携

支部その他に、56,948部を有償、無償で44部を頒布した。

(2) 公認野球規則

支部その他に45,768部を有償、無償で32部を頒布した。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

(1) 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として下記9団体に交付した。

- ① 全日本大学軟式野球協会
- ② 公益財団法人日本高等学校野球連盟
- ③ 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- ④ 全日本ろう社会人野球連盟
- ⑤ 全国専門学校野球連盟
- ⑥ 全日本還暦野球連盟
- ⑦ アオダモ資源育成の会
- ⑧ 全国官公庁野球連盟
- ⑨ 全日本女子軟式野球連盟

(2) 各種全国大会等後援関係

軟式野球に関連した以下の22事業を後援した。

- ① 全国高等学校軟式野球選手権大会
- ② 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会
- ③ 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- ④ 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- ⑤ 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球大会
- ⑥ 全日本古希軟式野球大会
- ⑦ 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会 *共催
- ⑧ 全国ガス野球大会
- ⑨ 全日本シニア軟式野球選手権大会
- ⑩ 高野山旗全国学童軟式野球選手権大会
- ⑪ 全国青年大会
- ⑫ くりくり少年野球選手権大会
- ⑬ K'2nd 全国少年少女野球教室
- ⑭ 全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆
- ⑮ 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- ⑯ MLBドリームカップ 2023 supported by XEBIO Group
- ⑰ 学童軟式野球全国大会ポップアスリートカップ
- ⑱ 全国500歳野球大会
- ⑲ 全国中学生軟式野球大会
- ⑳ 阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会
- ㉑ 少年軟式野球世界大会
- ㉒ ペップトーク講演会

(3) 全日本軟式野球連盟記録員養成講習会の実施

軟式野球大会の運営を各地において安定的に行うため、全日本軟式野球連盟記録マニュアルを活用した公式記録員養成講習会を実施した。

名 称	日 程	場 所	受講者
記録員養成講習会(東北ブロック)	4月15日(土)～2日間	岩手県・盛岡市	21名
記録員養成講習会(四国・中国ブロック)	4月22日(土)～2日間	香川県・丸亀市	22名
記録員養成講習会(九州ブロック)	7月22日(土)～2日間	鹿児島県・鹿児島市	18名

(4) 全日本軟式野球連盟放送員養成講習会の実施

軟式野球大会の運営を各地において安定的に行うため、全日本軟式野球連盟放送マニュアルを活用した放送員養成講習会を実施した。

名 称	日 程	場 所	受講者
放送員養成講習会(東北ブロック)	4月15日(土)～2日間	岩手県・盛岡市	45名
放送員養成講習会(四国・中国ブロック)	4月22日(土)～2日間	香川県・丸亀市	22名
放送員養成講習会(九州ブロック)	7月22日(土)～2日間	鹿児島県・鹿児島市	18名

(イ) スポーツ指導者養成事業

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ3養成軟式野球専門科目講習会

前期を集合開催、後期をオンライン開催とし、無事に全日程終了した。受講者数は下表のとおり。

講 習	日 程	場 所	受講者
前 期	11月24日(金)～26日(日)	埼玉県・新座市	56名
後 期	12月16日(土)～17日(日)	オンライン	47名

(2) 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

小中学生の軟式野球指導者・選手保護者を主な対象として、令和5年11月から令和6年1月の間に9ブロック10会場で開催し、終了した。

ブロック	日 程	場 所	受講者
中 国	令和5年11月25日(土)	IHIアリーナ呉	48名
北海道	令和5年12月3日(日)	帯広の森コミュニティセンター	44名
岐阜県	令和5年12月9日(土)	土岐市立駄知体育館	103名
北信越	令和5年12月10日(日)	鯖江市嚮陽会館	21名
関 東	令和6年1月13日(土)	国立青少年オリンピックセンター	38名
東 北	令和6年1月14日(日)	青森県総合社会教育センター	72名
近 畿	令和6年1月20日(土)	奈良県産業会館	34名
九 州	令和6年1月21日(日)	ひなた武道館	170名
東 海	令和6年1月28日(日)	桑名市長島まちづくり拠点施設	47名
四 国	令和6年1月27日(土)	テクノプラザ愛媛	78名

(3) 助成金

- ① 日本スポーツ協会より、スポーツ指導者養成事業交付金（R4 年度分）の助成を受けた。
- ② 日本スポーツ振興センターより、スポーツ振興くじ助成金（R4 年度成長期のスポーツ障害予防指導者講習会）の助成を受けた。
- ③ 全日本野球協会より、公認野球指導者育成奨励助成金（令和 3～令和 4 年分）を受けた。

(ウ) 広報活動事業

(1) 連盟ホームページの活用

連盟公式ホームページの活用として、全日本学童大会において全 50 試合をインターネット動画配信にて実施し、天皇賜杯大会では、準決勝と決勝戦、NPB ガールズトーナメントでは、全試合の配信を予定していたが、一部不具合のため 43 試合の配信を行った。中学女子大会では、主会場を中心に 16 試合をインターネット動画配信にて実施した。

また、学童野球向け情報発信サイト「学童野球応援サイト～Playball!～」、および指導者資格管理システム「PlayBB-members」にて、学童大会での新たな取り組み“アフターマッチファンクション”や指導者講習会開催情報など、軟式野球に関する最新情報を発信した。

(2) 広報誌の発行

連盟広報誌「全軟連 News」第 4 号を発刊した。内容は“今こそ野球の面白さを伝えよう”をテーマに、2023 年 WBC 日本代表監督 栗山英樹 氏へのインタビューのほか、2025 年本格導入となる競技者登録システムや学童部大会で新たに組み込んだアフターマッチファンクションなどを紹介した。連盟関係先に誌面を配布したほか、誰でも閲覧できるようバックナンバーとともに連盟ホームページに掲載し公開した。また、ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童部および少年部の広報誌をそれぞれ 1 回ずつ発行、各都道府県支部ならびに中体連の協力のもと、登録チームへ配布を行った。配布に際し、広報活動事業に対してベネッセ・コーポレーションより協賛を得た。

(3) Facebook、Instagram、YouTube による情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HP による発信を補完する形で、Facebook、Instagram に加え、全軟連公式 YouTube チャンネルを通じて情報発信を行った。

3. 収 1 野球用具検定事業

公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として 39 支部へ助成金を交付した。

4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の 1 階、2 階、5 階スペース、及び駐車スペース 3 台分を賃貸。

軟式野球会館の外ガラス及び外階段、エントランススタイルの清掃を行った。

5. 収 3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売した。

6. その他連盟が推進する事業・活動

(1) 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より9名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。

令和5年12月末までの復帰者総計629名。(40歳以上も含む)

NO.	支部	氏名	最終球団
622	岐阜	中神 拓都	広島東洋カープ
623	鹿児島	岸里 亮佑	日本ハムファイターズ
624	島根	田部 隼人	横浜 DeNA ベイスターズ
625	大阪	平田 良介	中日ドラゴンズ
626	広島	奥浪 鏡	オリックスバファローズ
627	千葉	古木 克明	オリックスバファローズ
628	鹿児島	緒方 葵	西部ライオンズ
629	広島	中田 廉	広島東洋カープ
630	神奈川	黒羽根 利規	日本ハムファイターズ

(2) 表彰関係

① 表彰委員会規程による表彰

1. 軟式野球殿堂表彰… 木下 宗昭 名誉会長 (全軟連)

2. 令和5年度の功労者(15名)の皆様を表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	梅尾 要一 (北海道)
東北	2	堤 喜一郎 (青森)・橋本 信男 (福島)
関東	2	山田 英雄 (茨城)・金澤 晟友 (東京)
北信越	2	風巻 良和 (新潟)・嶋 信一 (富山)
東海	2	山本 満 (静岡)・竹中 保雄 (愛知)
近畿	2	鈴木 正文 (滋賀)・江原 隆弘 (和歌山)
中国	1	荊尾 芳之 (鳥取)
四国	1	石川 允雄 (愛媛)
九州	2	鶴 登 (佐賀)・古堅 剛 (沖縄)
計	15	

② 読売新聞社主催 令和5年度第72回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …… 医療法人 和合病院(愛知県西)

③ 旭日小綬章 …… 木下 宗昭 名誉会長 (全軟連)

(3) 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を、外務省スポーツ外交推進事業に参加する形でブルネイへ、また、ベトナム、カンボジアには、連盟独自に各国野球競技団体に用具寄贈を行った。

世界の野球競技の普及および軟式野球のPRを目的に、引き続き野球途上国へ用具支援を行っていくこととする。